

主な取組項目 赤字は土砂災害追加	全体方針(5ヶ年)		目標時期	各団体の個別方針						備考	
	対象	実施状況(方針)		川本町	美郷町	邑南町	大田市	出雲河川事務所or 浜田河川国道事務所	松江地方気象台		島根県
■水害リスク情報等を地域と共有し、命を守るための確実な避難の実現											
1 想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図の作成・周知	洪水予報河川 水位周知河川	前期	洪水予報河川および水位周知河川の想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図の作成・公表	令和3年度まで	-	-	-	-	-	-	・八戸川、敬川の洪水浸水想定区域図を作成・公表し、江津市へ提供【H30】 ・三隅川、周布川、浜田川、下府川の洪水浸水想定区域図を作成・公表し、浜田市へ提供【R2】
	上記以外の県管理河川	新規	R6年度出水期までに全ての県管理河川に関する想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図を作成・公表	令和4年度～令和8年度	-	-	-	-	-	-	・R6年度出水期までに想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図を作成・公表
				R04取組予定	-	-	-	-	-	-	洪水浸水想定区域図作成に着手
2 水害・土砂災害ハザードマップの改良・周知	対象流域	前期	各市町村において、ハザードマップの改良・周知を行う	令和3年度まで	-	-	-	-	-	-	・ハザードマップの見直し ・ハザードマップポータルサイトに登録し、住民等へ広く周知 ・印刷物の各戸配布 ・R1年度にハザードマップを改訂したものを冊子として全戸配布 ・まっぴおんしまねへ登録し市民へ広く周知
	圏域	継続	現行のハザードマップの内容について、出前講座等で周知を図るとともに、新たに作成する浸水想定区域図等の更新および住民周知	令和4年度～令和8年度	定期的にハザードマップの更新を行う	実施済みであるが修正に伴う更新を行う	実施済みであるが修正に伴う更新を行う	浸水想定区域の更新にあわせて、随時ハザードマップの改定、配布を行う。	-	-	・新たに作成する浸水想定区域図及び土砂災害警戒区域図を市町へ提供する。 ・最新のハザードマップを出前講座で周知を図る。
				R04取組予定	定期的にハザードマップの更新を行う	実施済みであるが修正に伴う更新を行う	改訂したハザードマップの配布を実施する。	・令和5年度予定のハザードマップ改訂に向けた見直し ・印刷物の各戸配布	-	-	-
3 避難勧告等情報の発令に着目した水害・土砂災害対応タイムラインの策定	洪水予報河川 水位周知河川	前期	水害対応(避難着目型)タイムラインを作成し、対象河川について運用訓練の実施や実洪水等により適宜見直し	令和3年度まで	-	-	-	・既存の水害対応チェックリストを基に水害対応タイムラインを作成 ・実洪水、情報伝達訓練を踏まえ適宜見直し	・タイムラインの策定に関する支援	・水害対応タイムラインの確認・調整。水害対応タイムラインにおいて防災気象情報を有効に活用する観点から助言 ・R3.6の協議会に諮られた水害対応タイムライン(案)に対して、住民の円滑な避難行動に資するよう、警戒レベルに基づき、防災気象情報を有効活用する観点から助言を行った。	・既存の水害対応チェックリストを基に水害対応タイムラインを作成 ・一部見直し【R3】
	圏域	継続	作成したタイムラインについて、訓練や実洪水等により適宜見直し 土砂災害に関するタイムラインの作成・運用	令和4年度～令和8年度	関係機関と連携のうえ、実施	学習会の継続的な実施	関係機関と連携のうえ、実施	タイムラインの作成についての検討を進める。	・水害対応タイムライン見直し時において、相談があれば技術的助言を行う。	・タイムライン作成・見直しの際、防災気象情報を有効に活用する観点から適切な助言を行う。	・水害に関するタイムラインを実洪水や情報伝達訓練を通じて見直し ・土砂災害に関するタイムラインの作成・運用
	圏域	継続		R04取組予定	関係機関と連携のうえ、実施	学習会の実施	自主防災組織への出前講座・訓練の実施	情報伝達演習の実施	・水害対応タイムライン見直し時において、相談があれば技術的助言を行う。	同上	同上

主な取組項目 赤字は土砂災害追加	全体方針(5ヶ年)		目標時期	各団体の個別方針						備考
	対象	実施状況(方針)		川本町	美郷町	邑南町	大田市	出雲河川事務所or 浜田河川国道事務所	松江地方气象台	
4 洪水時・土砂災害における河川管理者(气象台)からの情報提供(ホットラインの定着を含む)	洪水予報河川 水位周知河川	前期 出水期前に情報伝達訓練等を実施することで連絡体制等の定着を図る	令和3年度まで	・出水期前の情報伝達演習等を通じて連絡体制の定着を図る ・ 情報伝達演習の実施	・出水期前の情報伝達演習等を通じて連絡体制の定着を図る ・ 情報伝達演習の実施	・出水期前の情報伝達演習等を通じて連絡体制の定着を図る ・ 情報伝達演習の実施	・出水期前の情報伝達演習等を通じて連絡体制の定着を図る ・ 情報伝達演習の実施	-	-	・出水期前の情報伝達演習等を通じるなどにより連絡体制の定着を図る ・洪水対応演習に併せ、ホットライン連絡先の確認を実施【R3.4.22】
	圏域	継続 出水期前に情報伝達訓練等を実施することで連絡体制等の定着を図る 【課題】 実施状況を記録として残し、タイムラインの見直しに活用	令和4年度～ 令和8年度	訓練の実施	訓練への参加により定着を図る	情報伝達演習の実施	県、関係機関と連携し、情報伝達訓練を実施する。	-	-	・出水期前に、洪水・土砂災害に係る防災気象情報の発表・伝達訓練等を行い、連携強化による円滑な作業実施と連絡体制等の定着・充実を図る。
			R04取組予定	訓練の実施	訓練の実施	情報伝達演習の実施	情報伝達訓練の実施	-	-	・県主催の「土砂災害に係る情報伝達訓練」に参画。また、県と共同で部外配信を含む「洪水予報演習」や「土砂災害警戒情報伝達訓練」等を実施する。
5 避難勧告等情報の発令判断を的確に行うための水防情報・土砂災害危険度情報等提供の充実	圏域	前期 防災気象情報の改善 水防情報システムの開発・運用	令和3年度まで	-	-	-	-	-	-	・降水短時間予報を15時間先、台風強度予報を5日間先まで延長【H30】 ・新たな発表指標(土砂災害における短時間指標)を用いた大雨特別警報。他【R2】 ・大雨警報(浸水害)・注意報、洪水警報・注意報の基準見直しを実施。新基準の運用開始。(継続作業) ・記録的短時間大雨情報の改善。 ・「キキクル(危険度分布)」通知サービスの細分化。 ・警戒レベルと対応した高潮警報等に改善。 ・線状降水帯がもたらす降り続く顕著な大雨への注意喚起。 ・指定河川洪水予報の改善。 ・防災気象情報と警戒レベルとの対応。 ・防災情報提供システムでキキクル(危険度分布)のメール通知を開始。
			令和4年度～ 令和8年度	-	-	-	-	-	-	・大雨警報(浸水害・土砂災害)・注意報、洪水警報・注意報について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行う。土砂災害警戒情報についても島根県と連携して評価・検証を行う。また、各種プロダクトの改善を随時実施し、HP等により公開する。
	圏域	継続 防災気象情報の改善 水防情報システムの更新・運用 土砂災害危険度情報の運用・周知	R04取組予定	-	-	-	-	-	-	・水防情報システムの運用・周知 ・水位計等の保守 ・土砂災害危険度情報の運用・周知

主な取組項目 赤字は土砂災害追加	全体方針(5ヶ年)		目標時期	各団体の個別方針						備考
	対象	実施状況(方針)		川本町	美郷町	邑南町	大田市	出雲河川事務所or 浜田河川国道事務所	松江地方気象台	
6 水害リスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	モデル河川	(参考)前期 モデル河川において、危機管理型水位計を整備	令和3年度まで	・水位計の設置が必要な河川、箇所を河川管理者と検討する	・水位計の設置が必要な河川、箇所を河川管理者と検討する	・水位計の設置が必要な河川、箇所を河川管理者と検討する	・水位計の設置が必要な河川、箇所を河川管理者と検討する	-	-	・水位計、簡易水位計の整備 ・水位表示板整備 ・河川監視カメラの整備
	県管理河川	継続 浸水被害が発生するなど住民の避難行動を促すため、新たにカメラ等を整備	令和4年度～令和8年度	県と連携のうえ、実施	情報の積極的な活用	河川管理者により出羽川に水位観測計設置	水位計の設置が必要な河川、箇所を河川管理者と検討する	-	-	・市町の要望を踏まえ住民の避難行動を促すため、新たにカメラ等を整備
			R04取組予定	県と連携のうえ、実施	情報の積極的な活用	河川管理者により出羽川に水位観測計設置	水位計の設置が必要な河川、箇所を河川管理者と検討する	-	-	・新たにカメラを整備 ○南谷川 1箇所 ○出羽川 1箇所 ○祖式川 1箇所 ○河木谷川 1箇所 ○潮川 1箇所
7 住民の水防災・土砂災害意識の向上に資する出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及や訓練	圏域	(参考)前期 出前講座の開催や広報誌等により防災知識の普及を図る	令和3年度まで	小学校、中学校、高校での防災教室の開催や出前講座の開催により防災地域の普及を図る	・広報誌等を利用した防災知識の普及 ・小・中学校での防災教室や地域での出前講座の開催により防災地域の普及を図る	・出前講座や防災講演会、広報誌等を利用し防災知識の普及を図る。 ・広報誌による防災知識の普及 ・自治会の防災教室等開催 ・小中学校などと連携した防災教育の普及・充実	・防災出前講座等により防災情報の入手、活用方法等について周知を図る ・自治会等における出前講座で情報入手、活用方法の周知 ・広報誌による情報発信 ・小中学校・高等学校での防災講座 ・マイタイムラインの啓発・普及	・防災知識の普及に協力	・邑南町防災士研修会、邑南町防災会議において島根県の豪雨災害及び防災気象情報の利活用について講演。【R1.6.26、R1.6.28】 ・川本町防災会議において島根県の豪雨災害及び防災気象情報の利活用について講演。【R1.6.27】 ・美郷町防災会議において島根県の豪雨災害及び防災気象情報の利活用について講演。【R1.7.3】	・出前講座により水防情報の入手、活用方法等について周知 ・広報紙を活用した防災情報発信
	圏域	継続 出前講座の開催や広報誌等により防災知識の普及を図る 出前講座等を活用し、 <u>マイタイムライン</u> の普及を図る【追加】	令和4年度～令和8年度	マイタイムライン研修会の開催	地域別に学習会を開催	・広報誌による防災知識の普及 ・自治会の防災教室等開催 ・小中学校などと連携した防災教育の普及・充実	・自治会等における出前講座で情報入手、活用方法の周知 ・広報誌による情報発信 ・小中学校・高等学校での防災講座 ・マイタイムラインの啓発・普及	・出前講座による水防情報の入手、活用方法等及びマイタイムラインの普及について、引き続き取り組む。	・出前講座等により防災気象情報の入手・活用方法を周知し、防災知識の普及・啓発を図る。	・出前講座により水防情報の入手、活用方法を周知 ・広報紙を活用した防災情報発信 ・出前講座等を活用し、マイタイムラインの普及を図る
			R04取組予定	マイタイムライン研修会の開催	地域別に学習会を開催	・広報誌による防災知識の普及 ・自治会の防災教室等開催 ・小中学校などと連携した防災教育の普及・充実	・自治会等における出前講座で情報入手、活用方法の周知 ・広報誌による情報発信 ・小中学校・高等学校での防災講座 ・マイタイムラインの啓発・普及	・出前講座による水防情報の入手、活用方法等及びマイタイムラインの普及について、引き続き取り組む。	・依頼に基づき、出前講座等の実施や各種訓練に協力する。	同上
8 水害リスクの高い重要水防区域、危険な箇所の共同点検等	県管理河川	(参考)前期 出水期前に関係機関での重要水防区域、危険な箇所の情報共有と共同点検の実施	令和3年度まで	・出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・市・消防団等と共同点検	県管理河川においては未実施	・出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・市・消防団等と共同点検	・出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・市・消防団等と共同点検	-	-	前期実施・出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・市・消防団等と共同点検
	県管理河川	継続 出水期前に関係機関での重要水防区域、危険な箇所の情報共有と共同点検の実施	令和4年度～令和8年度	関係機関との共同点検の実施	情報の積極的な活用	共同点検の実施	出水期までに関係機関と共同点検	-	-	・出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・市・消防団等と共同点検
			R04取組予定	関係機関との共同点検の実施	情報の積極的な活用	共同点検の実施	出水期までに関係機関と共同点検	-	-	同上

主な取組項目 赤字は土砂災害追加	全体方針(5ヶ年)		目標時期	各団体の個別方針							備考
	対象	実施状況(方針)		川本町	美郷町	邑南町	大田市	出雲河川事務所or 浜田河川国道事務所	松江地方气象台	島根県	
9 水害・土砂災害危険性の周知促進	圏域	(参考)前期 過去の浸水実績等の周知	令和3年度まで	浸水実績の周知検討等	浸水実績の周知検討等	浸水実績の周知検討等	・水害実績等の周知検討	-	-	・過去の浸水実績や簡易な方法を活用した浸水想定区域を関係市へ提供。 ・役場等に係る河川を中心に対象河川を調整	
	圏域	継続 出前講座等により過去の浸水状況を周知するとともに、浸水想定区域図やハザードマップ等を活用した水害・土砂災害危険性を周知	令和4年度～令和8年度	出前講座等の実施	地域別に学習会を開催	出前講座等の実施		-	-	・出前講座等により過去の浸水状況を周知するとともに、浸水想定区域図やハザードマップ等を活用した水害(土砂災害)危険性を周知	
	圏域	継続 出前講座等により過去の浸水状況を周知するとともに、浸水想定区域図やハザードマップ等を活用した水害・土砂災害危険性を周知	R04取組予定	出前講座等の実施	地域別に学習会を開催	出前講座等の実施		-	-	同上	
■要配慮者利用施設における確実な避難											
10 要配慮者利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成及び訓練実施の支援(水害・土砂災害)	圏域	(参考)前期 浸水想定区域図内の要配慮者利用施設の見直しを行うとともに、出前講座や避難確保計画作成・訓練実施等を支援	令和3年度まで	作成に向けた支援の実施	・対象施設の策定状況の把握と策定に必要な支援の実施		・対象施設の策定状況の把握と策定に必要な支援の実施	・平成28年度施設管理者向け説明会の開催 ・避難確保計画作成に関する支援	・平成28年度施設管理者向け説明会の開催 ・避難確保計画において防災気象情報を有効に活用する観点から助言	・平成28年度施設管理者向け説明会の開催 ・モデル施設で作成する避難確保計画を協議会の場で共有 ・例)モデル施設で避難確保計画の作成	
	圏域	継続 新たな浸水想定区域図に基づき、浸水想定区域図内の要配慮者利用施設の見直しを行うとともに、出前講座や避難確保計画作成・訓練実施等を支援	令和4年度～令和8年度	出前講座や計画・訓練実施の支援	協力して実施する	新たな浸水想定区域図に基づき、対象施設の策定状況の把握と策定に必要な支援の実施	作成に向けた支援の実施	・要配慮者利用施設の管理者が作成した避難確保計画について、自治体担当者から相談があれば技術的な助言を行う。	・要配慮者利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成及び訓練実施を支援し、防災気象情報を有効に活用する観点から助言を行う(水害・土砂災害)。	・施設管理者向け説明会の開催 ・モデル施設で作成する避難確保計画を協議会の場で共有	
	圏域	継続 新たな浸水想定区域図に基づき、浸水想定区域図内の要配慮者利用施設の見直しを行うとともに、出前講座や避難確保計画作成・訓練実施等を支援	R04取組予定	出前講座や計画・訓練実施の支援	協力して実施する	新たな浸水想定区域図に基づき、対象施設の策定状況の把握と策定に必要な支援の実施	作成に向けた支援の実施	・要配慮者利用施設の管理者が作成した避難確保計画について、自治体担当者から相談があれば技術的な助言を行う。	同上	・説明会及び避難確保計画作成に協力し、助言を行う。	
■被災すると社会経済に大きな影響を与える施設や基盤の保全を図る											
11 河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策	圏域	(参考)前期 通水を阻害する堆積土砂や立木の情報を河川管理者と共有し、計画的に撤去等を実施	令和3年度まで	通水を阻害する堆積土砂・流木の撤去について県と調整し優先箇所を定めて順次実施 ・河川状況の監視と県への報告	・河川状況の監視 ・通水を阻害する堆積土砂・流木の撤去について県と調整し優先箇所を定めて順次実施 ・河川状況の監視と県への報告	通水を阻害する堆積土砂・流木の撤去について県と調整し優先箇所を定めて順次実施 ・河川状況の監視と県への報告	・通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について県と調整し優先箇所を定めて順次実施 ・河川状況の監視と県への報告	-	-	・河川整備状況を共有 ・河川改修、水門、排水施設の長寿命化について計画的に実施 ・通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について関係市と調整し優先箇所を定めて順次実施	
	圏域	引継 通水を阻害する堆積土砂や立木の情報を河川管理者と共有し、計画的に撤去等を実施	令和4年度～令和8年度	河川状況の監視と県への報告	河川状況の監視と県への報告	河川状況の監視と県への報告	河川状況の監視と県への報告	-	-	・通水を阻害する堆積土砂や立木の情報を河川管理者と共有し、計画的に撤去等を実施	
	圏域	引継 通水を阻害する堆積土砂や立木の情報を河川管理者と共有し、計画的に撤去等を実施	R04取組予定	河川状況の監視と県への報告	河川状況の監視と県への報告	河川状況の監視と県への報告	河川状況の監視と県への報告	-	-	実施状況報告等	

主な取組項目 赤字は土砂災害追加	全体方針(5ヶ年)		目標時期	各団体の個別方針						備考
	対象	実施状況(方針)		川本町	美郷町	邑南町	大田市	出雲河川事務所or 浜田河川国道事務所	松江地方気象台	
12 排水施設、排水資機材等の情報を共有	圏域	(参考)前期 排水施設、排水資機材等の情報共有 河川管理施設、河川占用施設の適正な管理と点検の実施	令和3年度まで	・排水施設、排水資機材等の情報の共有	・排水施設、排水資機材等の情報の共有	・排水施設、排水資機材等の情報の共有	・排水施設、排水資機材等の情報の共有	・排水施設、排水資機材等の情報の提供 ・排水計画策定に関する助言 ・排水作業準備計画の更新	-	・水防計画により排水施設、排水機材の情報共有 ・令和3年度水防計画により排水施設、排水機材の情報共有
	圏域	継続 水防計画や関係機関との連絡調整会議等により、排水施設や排水資機材等の情報を共有	令和4年度～令和8年度	各種会議で情報共有	消防団と協働し実施	排水施設、排水資機材等の情報の共有	排水施設、排水資機材等の情報の共有	・水防連絡会等により、排水施設、排水資機材等の情報の共有を行う。	-	・排水施設、排水資機材等の情報の共有 ・長期にわたり浸水が継続し重要施設(市町村庁舎等)が在する地域において排水計画を作成
	圏域	継続 水防計画や関係機関との連絡調整会議等により、排水施設や排水資機材等の情報を共有	R04取組予定	各種会議で情報共有	消防団と協働し実施	排水施設、排水資機材等の情報の共有	排水施設、排水資機材等の情報の共有	・水防連絡会等により、排水施設、排水資機材等の情報の共有を行う。	-	・令和4年度水防計画により排水設備、排水機材の情報共有
13 市町村庁舎等の災害拠点施設の自衛水防の推進	圏域	(参考)前期 浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等に対し、情報伝達体制や方法の情報共有 浸水想定区域内の市庁舎の機能確保に必要な耐水化、非常用電源等の対策を実施	令和3年度まで	-	-	-	-	・災害拠点施設に対する情報伝達体制・方法について共有を図る	-	・浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等に対する情報伝達体制・方法の共有 ・浸水想定区域内の市庁舎の機能確保のため、耐水化・非常用電源等の必要な対策について、協議会で共有
	圏域	継続 浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等に対し、情報伝達体制や方法の情報共有 浸水想定区域内の市庁舎の機能確保に必要な耐水化、非常用電源等の対策を実施	令和4年度～令和8年度	訓練の実施	-	訓練の実施	市役所庁舎:浸水想定区域外 市立病院:浸水想定区域外	-	-	・浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等に対する情報伝達体制・方法の共有 ・浸水想定区域内の市庁舎の機能確保のため、耐水化・非常用電源等の必要な対策について協議会で共有
	圏域	継続 浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等に対し、情報伝達体制や方法の情報共有 浸水想定区域内の市庁舎の機能確保に必要な耐水化、非常用電源等の対策を実施	R04取組予定	訓練の実施	-	訓練の実施	市役所庁舎:浸水想定区域外 市立病院:浸水想定区域外	-	-	-
■ 他機関との多角的な連携										
14 他機関と多角的に連携し、地域を挙げて防災意識の向上を図る。	-	-	令和3年度まで	-	-	-	-	-	-	・報道機関との連携 第1回(テーマ:顕著な大雨に関する気象情報について、メディアとの連携について) 第2回(テーマ:住民に伝える情報を目指して、令和3年8月出水の概要、無堤部における氾濫発生情報の発表について) 第3回(テーマ:雪に関する情報、山陰の大雪のメカニズムと今季の雪の傾向について) ※いずれも、出雲河川事務所・浜田河川国道事務所と共催
	圏域	新規 協議会の内外問わず、他機関と広く連携した取り組みを推進し、相互に認識を共有のうえ地域防災力の向上を図る。	令和4年度～令和8年度	-	-	-	-	-	-	・各市町村の防災対応について、専任職員「あなたの町の予報官」が、平常時からきめ細かく支援する。 ・報道機関等部外との懇談会・打合せを定期的に開催する。 ・地方公共団体における防災担当職員等養成の一環として、依頼に基づく助言・講演や各種ワークショップを開催する。
圏域	新規 協議会の内外問わず、他機関と広く連携した取り組みを推進し、相互に認識を共有のうえ地域防災力の向上を図る。	R04取組予定	-	-	-	-	-	同上	-	-